

家庭学習のてびき

(5・6年生のみなさんへ)

1 なぜ家庭学習をするの？

みなさんは、授業中にできていたことが、2～3日過ぎると分からなくなったということはありますか？「毎日、学習したことをきちんと復習していくこと」は、とても大切です。また、「次に学習するところを前もって読んでおいたり調べたりすること」で授業の内容がもっとよく分かるようになります。

根気強く『予習→授業→復習』の繰り返しを続けることで、どんなことでもがんばり続ける力がついていきます。さらに、自分をもっと知りたいことなどを調べる発展的な学習をすることで、楽しく学ぶ力もついていきます。

2 どんな学習をするの？

- ① まず、宿題があるときは、はじめにやりましょう。
 - ② 次に、復習するべきことがあればやってから、予習に取り組みましょう。
 - ③ さらに、発展的な学習に取り組みましょう。うら面の「各教科の学習」を参考にし、きょう味のある学習を自分で見つけて取り組みましょう。
- ☆ まずは、ノートを使って学習しましょう。

3 どのくらい学習するといいの？

5年生なら60分間以上、6年生なら70分間以上が目安です。毎日続けることが、大事です。

4 どんなことに気をつけて 学習するといいの？

- 1 家庭で時こくや時間を決めて、必ず行う。
- 2 始めたら、立ち歩かずに集中する。
- 3 えんぴつを正しく持ち、良い姿勢で学習する。
- 4 テレビをつけず、静かな場所で学習する。

<各教科の学習の例> (5・6年)

⑧…復習

⑨…予習

⑩…発展学習

を表しています。

<国語>

- ⑧ 学習したところを音読する。新出漢字の練習をする。漢字辞典などで、新出漢字の読み方、使い方、書き順、成り立ち、漢字の熟語や例文などを調べて、ノートに書き写す、ローマ字で物の名前を書いたり、しりとりをしたり、文章を書いたりする。
- ⑨ 次に学習するところを読んでみる。教材文や詩などを写し書きする。(視写)
国語辞典をひいて、わからない言葉の意味調べをする。
- ⑩ 日記を書いてみる。詩を書いてみる。読書感想文を書いてみる。ことわざや慣用句を調べる。

<算数>

- ⑧ プリントや問題集、教科書の同じような問題を探して解いてみる。大切な部分をまとめる。
まちがえた問題に再チャレンジして、どこをまちがったのか、考えてみる。
教科書や授業ノートに書かれた問題の解き方を家庭学習ノートに視写する。
基本的な計算練習に毎日5分以上取り組んでみよう。(スピードと正確性をのばす。)
- ⑨ 次に学習するところを読んでみる。新しい問題にチャレンジして、答えを予想してみる。
分からないところにアンダーラインを引いたり、「ふせん」をはったりする。
- ⑩ 学習したことをもとに文章問題を作ってみる。くらしの中から問題を見つけてもよい。答えも書く。
学習したことを生活の中で役立ててみる。例えば、生活の中のいろいろなものの平均を計算する。1つの量をいろいろな単位で表してみる。(LをdLやmLに変かんするなど。)

<社会>

- ⑧ 学習したところを音読する。重要なことをノートに書く。絵や図表も書いてみよう。
- ⑨ 次に学習するところを読んでみる。興味や関心をもったことをノートに書く。
- ⑩ 図や表などから、分かったことや考えられることをノートに書く。学習したところに
関係ある新聞記事があれば、切りぬいてノートにはったり、メモしたりしておく。
歴史年表を作る。歴史人物やことがら事典を作ってみる。
都道府県名や県庁所在地、特産物を調べたり、世界の国名や首都名、世界遺産などを調べたりしながら地図を作ってみる。

<理科>

- ⑧ 学習したところを音読する。重要なことをノートに書く。
実験の様子や分かったことを絵や図表・グラフなどにしてノートに書く。
教科書の単元の終わりに書いてある「学習のまとめ」をノートに視写する。
- ⑨ 次に学習するところを読んでみる。興味や関心をもったことをノートに書く。
- ⑩ 学習したところに関係ある新聞記事があれば、切りぬいてノートにはったり、
メモしたりしておく。
生活の中の「なぜ?」「不思議!」を見つけて、ノートに書く。例えば、雲の動きを観察してみる。テレビや新聞の天気図を何日か続けて見て天気の変化を考える。一定の期間の降雨量や日照時間などをグラフに表し、分かったことなどをノートに書く。主な星座名を覚え、星や月の位置を観察してみる。